

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年11月7日(火) 19時00分～21時10分		
開催場所	西当別コミュニティセンター	出席者	17名
出席議員	後藤議長、稲村議会運営委員長、高谷議員、市川議員、古谷議員、澁谷議員、秋場議員、五十嵐議員		

◎稲村議運委員長開会

◎後藤議長開会挨拶

大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。この議会報告会は、今日で10回目を向かえ、年2回、3月定例会と9月定例会が終わった後、開催させていただいております。高谷前議長のと時から始まり、5年目を過ぎようとしています。そのような中で、当別町議会としても、議会改革を進め、住民の皆様との距離を縮め、皆さんから色々なご意見を伺う中で、町政あるいは議会運営に反映をさせていくということで、この報告会を開催をさせていただいております。特に、こちらの地区におきましては、9月23日に、道の駅がオープンして、そこに来ていただいた方が、西当別の商店街、あるいは、当別の商店街に流れ込み、一部ではありますが、良い結果がでてきているのかなと思っております。一方、交通渋滞などで、こちらの地域の皆様には、一部、ご迷惑をお掛けいたしているとも思っております。議会としましては、これまで、宮司町政が始まり、この道の駅を建設することになったときから、議会の中に特別委員会を設置することはしませんでした。議員協議会の中で、進捗状況の報告をいただき、議会としての意見を申し上げさせていただいて、オープンに至ったという経緯がございました。今回、道の駅につきましては、tobeという株式会社に運営を移行されましたが、そのような中で、議会として、今後どう対応するかということで、最終的に、道の駅ができあがったということもあり、最後の議員協議会で、約1月経過をした状況を報告していただき、今後の改善点について、議会としての意見を述べさせていただき、議員協議会での報告は、それをもって終了させていただきました。今後、議会には、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会がありますが、道の駅は企画部が担当しておりますので、総務文教常任委員会での今後の運営等について報告を求め、協議をしていく形にさせていただきました。また、レクサンド市30周年もございまして、多くの町民の皆様、レクサンドの皆様をお迎えをいただきました。議会といたしましても、個々に対応させていただきましたけれども、レクサンドから来られました概ね60名の皆様、市長はじめ議長も大変喜んでお帰りになっていただけたと思っております。これも、一重に、私どもとか行政とかということではなく、町民の皆様お一人お一人がお迎えをする気持ちで、受け入れをしていただいたことが、大きかったのではないのかなと思っております。このことにつきましても、議会の側からもお礼を申し上げさせていただきたいと思っております。今後、40周年、50周年に向けて、レクサンド市との絆が、固いものになっていくんだなと実感させていただいております。

さて、今日は、6月定例会や9月定例会について、ご報告をさせていただき、その後、皆様から行政あるいは町づくりの諸般につきまして、ご意見をいただきたいと思っております。

ますが、6月定例会で、議会は2年ごとに委員会の所管替えとなっております。後ほど、それぞれから自己紹介がありますけれども、役職を改めてご認識をいただければと思いますし、議会改革につきましても、個々の議員の意識の向上と資質の向上を基本として、いわゆるセカンドステージに向けて、議会のあり方を検討しましょうということで、今、進めさせていただいております。当別町は、人口減少や高齢化など、色々と課題が多く、それをどう克服していくかということに果敢に挑戦をしていただいておりますけれども、議会といたしましても、それに対して、いわゆる二元代表制の一翼として、こういった形で何を補えるかということを考えさせていただいております。そういった意味では、今、議会運営委員会の中で、特に、少子化ですとか、あるいは、コンパクトシティづくりと言いますか、総合的に、今後、役場の庁舎ですとか、小中一貫校ですとか、大型公共施設を整備していかなければならない状況になってきますので、その優先度や色々なことにつきまして、議会としての考え方をまとめていく必要もあるということで、12月の定例会では、特別委員会を作る準備を、今、させていただいております。その特別委員会の中でも、皆様からご意見をいただく中で、町としっかりと連携をする中で、こういったありようが当別にとって良いのか。あるいは、どうすることが、今、当別町が抱えている課題を克服していくことになるのか。ということを経済の中でしっかりと議論をさせていただいて、対応をしていきたいということで、今、準備を進めているところでもございます。本日は、短い時間ではありますが、色々と将来に渡るご意見等を賜ったうえで、今後の議会運営に反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

◎議員自己紹介

◎6月・9月定例会報告 秋場議員、市川議員

◎とうべつ議会だよりモニター募集説明 古谷議員

○（稲村委員長）質問や意見があれば、伺いたいと思います。

※特になし。

◎懇談

○（議会）地域の抱える課題は、非常に幅広いものであるが、忌憚のないご意見をいただけたらと思う。

○（町民）今、定例会の報告をいただいたが、今の説明やこの資料を見ただけでは、よく理解できない。そのような方がほとんどではないかと思う。何となくわかることもあるが、具体的に説明していただかなければ、「町長提出議案 23 件ありました。」、町長提出議案とは何なのか。初めて出てきた方にはわからないと思う。例えば、「LED 化工事 490 万円を提案しました。」ということであると思うが、それで、議決された。「北栄団地の修繕工事」は、何をされたのか。9月定例会を見ても、「町道外除排雪業務 1,500 万」はどこの道路に 1,500 万円を出したのか。資料のとおり読んでいただいたが、私は、具体

的なことがさっぱりわからない。このようにわからないと、次回も来たくなくなる。だから、今日少ないと思う。

○（町民）今の関連であるが、言われたとおりで、これを見て説明を受けても具体的な内容がほとんどわからない。提案であるが、せっかく、議会だよりがあるので、それを参照しながら、説明を受けたほうがわかるのではないかと思う。ご検討いただければと思う。前日もそのようなお話をしたが、この資料だけでは、確かに難しいと思う。

○（議会）もっともであると思う。自分も、この中の人も、今言われた一つ一つの案件を全部説明するという事は、たぶん、できる人はそんなにいないと思う。資料もないということもある。ただ、主なところということで、その後に出ているところが、主な議決になっている。今、一つ一つ説明するよりは、今言われたことを次の議会報告会に向け検討し、わかるような説明の仕方にしていきたいと思う。

○（議会）言っていたきたいことを言っていたいたと思っている。個々の議員の資質の向上も含め議会改革を進める中、各議員さんに、色々な意識を持ってもらうことは、なかなか難しい。議会の姿勢の足りないところ、あるいは、もっとこのようにやったら良いという部分をご指摘いただけるかなということも含めて、議会報告会をさせていただいている。今、ご指摘いただいたことは、私も聞いていて、本当に皆さんわかるのかなという感じであった。例えば、議員は個々の権利を持っているので、議決責任がある。議会でのような議決がされたかという部分で、誰が賛成をして反対をしたのかということ、議会だよりを読んでいただくと、例えば、意見書に対する賛成反対というのは、要旨が出ていて、読んでいただければわかるが、このように皆様の前で報告するときには、よりわかりやすく、「この議会では、このようなことが主なテーマで、例えば、補正予算の中身はこのようなことでした。」と、もっとかいつまんで具体的な報告をさせていただいて、そして、誰が反対をして、あるいは、満場一致で原案承認しましたよとか、そのような報告の仕方を、今後、改めさせていただきたいと思う。今日、すぐに直すことはできないが、来年の3月定例会が終わったあとに、「こんなに変わったのか。」というような報告をさせていただきたいと思うので、今日は、ご容赦いただければと思う。

○（議会）LED は、本通商店街で、古くは2年前に一度、国のほうに要請を出して、それに対して半分の補助金をもらえると予想していた。そして、そのうちのまた半分のうちの半分以上を当別町が補助金を出すという形で、当時、議会で議決されたが、国のほうが、保留になり、見通しがつかなくなったので、町の補助金も全部打ち消しになった。それでその話は一回流れた。今年になってから、新たに申請したところ、国からは、全面的な補助金として490万円が、100%で出た。その100%の490万円を受けて、当別町の一般会計に一回入るので、それを議決したということである。すでに始まっていて、ほとんど終わっているので、本通り商店街に来たときに、眺めてもらえれば、わかると思う。

○（議会）その他のLED化については、10年計画で100%にする予定になっている。28年度まででは、216灯で26.1%の進捗率になっている。北栄団地の修繕工事の主なものは、屋根のペンキ塗りの予算が補正でついたものである。

○（議会）町道外除排雪業務は、この後、契約にはいるが、今、労務単価が非常に高くなってしまったことと、燃料費が上がっている。当初予定したよりも、1,500万円くらいを

上乘せなければ、契約には至らないということで、増額をしたということである。

○（議会）北海道の労務単価見直しに準じて当別町も労務単価を同じように上げている。それと、燃料費の高騰である。

○（議会）保育施設等給付費は、3歳未満の第2子保育料無償化である。就学前のお子さんから数えて2人目の3歳児未満の第2子が無償化になるということである。これは、平成29年4月に戻って給付するという事になっている。

○（議会）わかる範囲での説明は、今、させていただいたが、今後の説明の中での提案があったので、次のときには、対応しながら進めていければと思う。

○（町民）地域が抱える課題ということで、1件要望したい。後継者に何らかの生きる道というか、助成金になるのか、どうか。それと、もう一つ花嫁対策はないのか。私の町内会は30戸あるが、離農が進んで、家はあるが営農している人は、16戸である。そのうち、5戸しか、20代、30代の後継者がいない。このままいくと、5年、10年後には、3倍近くの農地を私たちの町内会で、若い人が営農していくことになる。規模拡大といっても、限界があるし、今年みたいな天候では、作業がどんどん遅れてしまう。考えてみると、新規就農給付金というのは、全国的な国の制度である。サラリーマンを辞めて営農するとか、大学や高校を出て新たに土地を探して、例えば、当別で借りてとか買ってとかで営農する場合は、5年間にわたり年間150万円あたる。それで元気に農家をやっている人も、少なからずいる。それが、途絶えると大変厳しい状態である。規模にもよるが、今、機械を買うにも1,000万円くらいかかる。なかなか営農していくことが厳しい。それならば、親元就農を町としても考えてもらいたい。なかなか、親元就農しても、その家計が子どもに給料を払えない状況があれば稼ぎに行き、忙しいときだけ帰ってくる場合もあるし、しまいには嫌になって出ていく。そのようなこともやはりある。道の駅ができて箱物は作った。魂を入れる段階で、当別は、本当に農業のことを考えているのか。産業だけを見ているのか。農業というのは、地域政策でもある。やはり食料というのは、生命産業である。1日たりとも欠かせなく、しかも、安全で安定したものがなければ、この国はどうなってしまうのか。外国から入れる間はいいが、それが安全かどうか。しかもなくなれば、経済的に大変であるし、言うことを聞かなければ売ってくれない。農業は国の基と言われて、大切にされてきた。欧米にしても、自給率を上げて自分たちの国で文化食料試験というものを確立し、自給率を守ってきた。当別町もそのようなことも考えなければならぬ。後継者に何らかの手当てというか、お金ではなくても、「このような道がある。このような方向で頑張ってくれ。」と言えれば力が湧く。かつては、花嫁対策のための組織があった。いつの間にかなくなり、今では、道でやっているが、これはお金が来るから、おいしいものを食べて、若い女性と交流して、はいさよなら。というのが多く、なかなか、地に着いたものではない。お金があって、そのような機会があって来る女性も多い。そうではなく、町にお嫁さんが来てくれたら口伝えて、「当別町に行ったら安心だ。」と言われるような、そのような長い目でみて、当別町は、農業を大事にしているんだ。農業にも後継者がいて、花嫁が来やすいんだ。そのような町づくりを真剣に考えていただきたいと思う。

○（議会）ほとんどの方もそのように思っていると思う。まず、就農支援金については、国の事業であり、当別町では、人数は今はっきりわからないが、申請があつて、要件に該

当する方は、100%対象になっていると認識している。そのような制度がを知らない方もいると思うので、是非、該当する可能性がある方がいたら、問い合わせてみるのが大事であると思う。それから、花嫁対策というのは、一時、かなり盛んに町では推進していたと思うが、大きな成果は上がっていないというところであると思うが、今のご意見は、自分たちの中で働きかけると言うか、そのようなことを一緒にできればいいのかなと思う。非常に大事なことであると思っている。先ほど、これからの農業についての話もあった。今までの20年間で、農家の戸数は約半分になった。それが、今後10年間で半分になるという予想になっている。おそらく、当別町ではそれ以上のスピードで、そのような方向に向かっているのが、今の現状であると思う。それから、新規就農者も毎年いる。しかし、なかなか、収益を上げるところまではいっていないのが、現状であると思う。それを、地域や農協とか、色々な機関で支援するということが、非常に大切になってくると思っている。貴重なご意見として、これからの自分たちの活動の中に生かしていきたいと思う。

○(町民) 道の駅ができ、この地域もかなり変わってきたと思うが、先ほどから、本町、西当別という言葉が出る。西当別は、どこの地図を見ても載っていない。西当別は、どこで線引きをしているのか。町内会で線引きをしているのか。それをはっきりとしたほうが、町民としてもいいと思う。もう一つは、当別のほうへ行くと何々町内会と町内会の名前が出ている。町内会で作っているのか。町として、看板をつけているのか。太美の地区には、それがどこにもない。それともう一つ、私が一番困っているのは、かなり地番がとんでいることである。何番地はどこですかと聞かれても全然わからない。これから、この地域も発展していくから、例えば、よそから来て、どこでしょうと聞かれても全然わからないというのは、すごく不自然なことであると思う。どのように考えているのかお伺いする。

○(議会) 自分の知っている範囲で、町名整備という役場の事業があり、国の予算の関係で、全部整備しないうちに、その事業がなくなった。

○(議会) 大事な意見であると思う。議会でも取り上げて、結論から言うと町長は予算がないからもう少し待ってくれということであった。私は太美駅の東側で、線路を挟んで太美銘泉などがあるが、そこも同じ番地である。私も、散歩中に何回か聞かれたが、答えられたことが一回もない。言われるとおり、これは、町の発展というか、色々な角度から見ても、住んでいる人も来る人にとっても地番をわかりやすくすることが、町の発展につながっていくと思うので、この点は是非引き続き取り上げてやっていきたいと思う。

○(町民) 西当別は、どこで区切られているのか。

○(議会) 町名整備事業というのがあったという話をしたが、境界がはっきりしていない町内会があったと思う。そういうところから、境界を決めているということであると思う。

○(町民) 西当別というのは、何で西当別と言うのか。西当別とつくのは、小学校と中学校だけである。昔は農協があったが、今はもうなくなった。どこで分けているのか。

○(議会) 今、ここで正確に答えられないと思うが、おそらく、行政区で分けていると思う。

○(議会) 言っているのは、西当別や太美という言葉の使い分けは、どこでしているのかということであると思う。

○(町民) スウェーデンヒルズも西当別なんですよ。

○（議会）明確な区別はないと思う。便宜上、概念的にそのような表現をしているとご理解いただいたほうがいいかなと思う。比較的、以前から、当別に住んでおられる方は、そのような言い方をする人のほうが多いと思う。ただ、私も先ほど使ったが、特に何を区別してということではなく、皆さんにお話しするうえで、わかりやすい言い方をするといいかなということでお話をさせていただいている。ご理解をいただければと思う。

○（議会）本町側に住んでいる人は、自分たちのところを本町とはあまり言わない。何かものを説明するときに、皆さんにわかっていただけるような形で説明する中で、できたと思う。西当別連絡協議会のように、行政としても使っているが、何らかの根拠があるわけではないと思う。それを統一できるかという、一つの文化であるから難しいと思う。

○（議会）先ほどの番地の問題であるが、おそらく、町長もそれは意識をしているし、今後、町づくりを進めていくうえで、わかりやすい行政をどう進めていくかという観点からも、番地の整備は、一度しなければならぬと考えていると思う。ただ、お金がかかることなので、直ちにできるかと言うと、なかなか踏み切ることが難しい。優先度が少し低いということがあると思う。ただ、実際に住まわれている方や外から来られる方には、わかりづらいと思う。元々、当別の東のほうの町もそれぞれ字界があり、町内会と住居表示が一部別なところは、今ある。しかし、大きな区切りで、町内会の区切りをわかりやすくしようということ、整備を十数年前であるけれどもやったことがある。それを、太美の町も西当別の町も拡張して少し縮小してきた状況にあるが、それだけ番地が少し複雑になっているので、そこをいつかの時点で、やはり整備をするということは必要であると思う。それとあわせて、個人の境界についても明確にしていくことも必要になってくるのではないかなと思っている。必要性は感じているが、そこにすぐにたどり着けるかと言うと、今、そうはなっていないということでご理解いただければと思うし、町側には、そういったご意見があったということで、報告をさせていただきたいと思う。

○（議会）13年くらい前に、当別町の本通り側で行政区の変更があった。昔、西小川通という言葉を使っていたが、うちはそこにたまたまあてはまり、弥生という名前に変わり、区画整理をした関係で、番地も変更になった。それをするによって、うちは会社であったので、登記や印鑑、紙袋も全部変えなければならなかった。企業があれればそのようなことも関わり、相当な予算がかかることが想定される。それでどうしても行政としては、先送りになっているのではないかなと思う。町長も今年の選挙のときに、思いはあるが、それを優先できないんだというようなことを言っていた。議会としても、そのような話があったということは、再度認識しておくべきであると思っている。

○（町民）12月に公共施設の委員会を発足するというので、大変、素晴らしいことであると思っており、今、一体型小中一貫校や庁舎、図書館、町営住宅など、色々と投資をしなければならない事業がたくさんあると思う。そのような中で、例えば、一体型小中一貫校コース、図書館コースというように、一点一点検討をするのか。私が個人的に思うのは、やはり、地域の活性化につながることをお互いに相乗効果、あるいは、役割分担を検討しながら、進めるべきではないかと思っており、特に、おそらく次は、CCRCを含める地域の活性化が重要なテーマかと思うので、そのような中で公共施設はどのような役割あるいは位置付けにするかということを是非検討してもらえればと思っている。どのような

スタンスあるいは目的で委員会を発足するのか伺いたい。

○（議会）今、当別町では、公共施設の総合管理計画を進めている。その中で、270 くらい公共施設があるが、老朽化が進んでいるものや更新するものなど、大きな町の将来的な形を作っていくというもあるので、これを特別委員会の中で検討しながら進め、優先順位ということにもなるが、分類をしながらそういったものについて進めていくということを 12 月議会に提案しようという方向になっている。是非、そのことについては、自分たち議会だけではなく、町民と触れ合いながら検討していくことになると思うので、考え方があればそれをお受けしながら、自分たちの中で反映させていきたいと思っている。

○（町民）委員会で 270 くらいある公共施設の取捨選択をするのか。新たな公共施設についても、今後の地域の戦略の中で、どのような役割あるいは位置付けということまで検討するのか。それと CCRC との関係も含めて検討をするのか。要するに、どこまで踏み込んだ委員会にする考えか。

○（議会）新しく考えるものについても、今までの整理についても、CCRC についても、総合的に進めていくということになる。当別町は、役場庁舎や特に中学校であるが、近々にある程度の方向性を出さなければならないところもある。総合的に考えて、優先順位を付けていくことが、これからの大きな課題と思っている。それと、人口問題をどのようにやっていくかが、関連的に考えていかなければならない要素になるとも思っている。

○（議会）先日、総務の常任委員会で、倶知安町を訪れた。倶知安町は、町の庁舎が老朽化しており、国の補助をいただき、今、建て替えをしようということで、取り組んでいる。倶知安町の公債費負担率は 7. 数%であるが、当別町は、既に 14%くらいで、借金が半分くらいの町である。そういった意味では、国の補助もすぐ受けて、そして、9割くらい交付税で返ってくる状況で、今、やろうとしているが、倶知安は、それをやっても公債費比率は 13%弱になるということで、借金をそれだけして、役場庁舎を建てても、問題はない。当別町も手を挙げればそのお金を借りれたが、今、借りてしまうと、いわゆるレッドカードをもらってしまうので、すぐにはできないということになった。例えば、そのようなことも含めて、当別町の所有する 270 件すべて洗い出しが終わり、今後どうするかということで検討に入った。基本は、大型の公共施設、例えば、役場の庁舎が震度 4 の直下型地震が来ると潰れて機能しないという状況に今ある。そこも喫緊の課題でもあるが、町長は、この 4 月から小中一貫校を分離型で始めたけど、9 月の定例会のときに、自分の任期中に目鼻をつけたいということを行った。当別中学校の校舎はカビが発生していて、校舎としても子どもたちの衛生環境を考えると改善しなければならないということもあり、町長は、そのような答弁になったのかなと思うが、教育委員会も一体型で小中一貫を進めたいと当初から考えていたので、そのようなことが始まっていく。しかし、役場の庁舎も老朽化が進んでおり、何かあったときに、いわゆる災害対策本部を置くとか、また、皆さんの色々なデータを役場は保管しているが、それが一瞬でだめになってしまうと、行政の機能が失われる。それをどう保全をしていくかということのも大きな課題であるが、そのようなことも含めて、財政状況も勘案して、今度、どのように大型公共施設を整備してることがベストなのかということと、それから、そのことが、いわゆるコンパクトシティ作りにつながって、コストの少ない行政運営をどう実践していけるかということにつなげていき

たいという思いで、町は進んでいくであろうから、議会としても、そのような視点をもって、町の行っていく事業に対して、しっかりと意見を申し上げようという思いで、この12月に設立をしていただくということで、今、議運のほうでもその議論をしっかりとさせていただいて、議長の方に答申をいただいて、今回、その委員会作りをさせていただきたいということである。最大の目的は、いわゆる、少子高齢化、あるいは、人口減少に対応していくための強い町をどう作っていくかということを中心点に置きながら、今後の色々な大型施設の整備をどう進めていったらいいかということを中心点に検討していく委員会であるのご理解をいただければと思う。

○(町民) 4点ほどお伺いしたいことがある。まず一点目は、議会の情報公開についてである。どなたか議員の方が本会議で質問をしていたかもしれないが、議事録は、今、紙ベースになっていて、閲覧をするときには、申し込みをして閲覧をさせてもらうが、ネット上で公開されるように要請が出されているように聞いているが、進捗状況をお聞きしたい。それから、議会だよりであるが、今、ホームページ上でも10年分くらいは見れるかもしれない。私としては、その先の過去の議会だよりをホームページ上で見れるようにしていただきたいと思っている。役場の広報は、10年分くらいしか見れなかったが、企画のほうにせつついて、2年くらいなかったが、今、だいぶ遡ってネット上で見れるようになった。やっと、役場に足を運ばなくても、過去のものが見れる状況になっている。要するに、図書館とかがないので、そのようなものを見るとしたら、町民が現場に足を運ばなければならない。不便な状況というのは、できるだけ解消してほしいというのが、私の願いである。それから、2点目であるが、先ほど、議会だよりモニターのご説明があったが、これは大変いい制度だと思っている。先ほどのご説明では、14名の委員で、11名を指名して選任する。4名が一般公募するということであるが、その一般公募はともかくとして、その指名をする部分であるが、当別町の外部の意見を聞く委員会というのは、そのように、あて職みたいな形で委員を割り振っている。それは、非常にナンセンスであると思う。例えば、何とか青年部の部長さん1名出してくれと1名出した。その問題に何も関係、関心もない人が、「俺は部長だから出るわ。」みたいな状況が作られている。せつかくの機会にそのようなことがあってはならないと思う。しっかりと個人で、この人ならいい意見を出してくれるであろうと個人を特定して選任をしていくべきであると考えている。商工会女性部長だから、やってもらおうとか、そのようなことではだめだと私は思う。他の役場の委員会もそのようなになっているので、それは、改善したほうがいいと思う。それと、多選の弊害もある。何期も何期も同じ人がやっているというのもなくしたほうがいい。このような委員会は、マンネリにつながると思っている。それから、私はビトエに住んでいるが、南1号と14線の交わるところにやはり信号がいるのではないのかなと思う。14線は、南のほうから来ると南2号に信号がある。それで、北1号は点滅の信号がある。それで、南1号には、信号はないが交通量がすごい。337が4車線になって、交通量が減るのかなと思ったが、私には変わっていないように見える。私は、大型トラクターも持っていないし、軽トラとか乗用車であそこの道路を横断するだけであるが、例えば、市街から来てビトエのほうに渡るときに、行き去るのを待つが、非常にあおられるような感じがする。なので、あのようなところには、信号が必要ではないのかなと思う。その信号を作る要望をすると

きにどのように要望したらいいのかお聞きしたい。3点目である。それから、私は、ビトエに住んでから10年目になるが、他の人によく話を聞くと、議員の方々の議会で活躍されている場面とかは広報やネットでも配信されているから見る。もちろん傍聴にも行くが、議会中はわかるが、それ以外の場面で、議員さんの活動がなかなか見えないという話をよく聞いたりする。お聞きしたいことは、せっかくここに8人の方がいるので、個人的に懇談とかをやられているのかどうか、あるいは、個人的に活動だよりみたいなものを出しているのかをお聞きしたい。

○（議会）わかるところから話したいと思う。信号のお話があったが、町で要望を出すことはあまりないと思うが、要望先は公安委員会である。ここらへんでは北署である。北署の中に公安委員会というのがあるので、町内会長名で出せると思う。自分も町内会長をやっていたときに何回か出したことがある。信号の新設は、お金がかかって、要件があるのと、優先順位や交通量の調査であるとか、事故の調査であるとか、やってくれるところまで時間がかかる場合もある。もう少し詳しい情報が必要であれば、お聞きいただければと思う。それと、個々の議員の活動については、主に、後援会に対して行っているのが普通であると思う。今、当別町議会でも会派制を敷いているが、自分のところでは、会派の中で会報を定期的に発行している。個々の議員の対応になるので、全員が同じではないと思うので、今いる議員の中で、答えていただければと思う。それから、議事録のネットでの公開については、議会改革の中で検討課題になっていたかどうか、今、記憶にないが、当然、他の議会でもしているから、そのような意見があったということで、議会運営委員会というところで、今、議会改革を進めているので、議運の中で、議会の中で対応できるものであると思う。あとは、多選の話はよろしいですね。それぞれが、受け止めればいいのかと思う。議会だよりのモニターの件については、委員長のほうから答えないと思う。

○（議会）モニターの候補について、どのような選出かというお話があったが、年齢、性別及び地域等を考慮して、広く町民の方から意見を聴取したいということで、公募も4名いる。試験的なことで、今までやっていなかったのも、よそでやっている例や規約等も参考にしながら進めている。このように、年齢、性別、地域等も考慮するということになるので、色々な地域の団体のほうがいいかなということで、団体をお願いすることにした。部長が出てこいということではないので、その団体の中から、出ただければと思っていて。当然、そのような意見があると思うが、個人を推薦することになると、それも非常に難しい。初めてのことであるので、色々勉強させていただきながら、他の規約等も考慮した中で、私どもが提案させていただいて、皆さんにご協力していただいたわけであるが、個人を選定することになると、自分の好きな人ばかり選んでなどということ、あなたの好きな人を選んだんですかとなりかねない。素晴らしい意見であると思うが、一番初めの考え方としては、団体をお願いしながら、広く町民の皆さんの意見を聞きたいということで、このようなことで進めていきたいと思っている。

○（町民）議会だよりのバックナンバーをネット上で公開してほしいということも、改革協議会だかで検討することであるのか。

○（議会）要望として、聞かせていただいたということでよろしいか。

○（町民）誰から聞いたということではないが、議事録のホームページ上の公開というの

は、具体的に進んでいるようなことを聞いたことがあったが、そのようなことはないのか。
○（議会）議員から、それを見られるようにならないのかという質問があって、議会改革の検討項目の中にある。

○（町民）私は、答弁は聞かなかったが、具体的な答弁ではなかったのか。

○（議会）それは、議場ではやらない。議会の中だけであるから、外に向かってやるものではない。

○（町民）議員さんに対してということか。外に対して、情報公開…。

○（議会）そうではなく、例えば、一般質問は本会議場で議論になる。議員は、議員の中で、わかりやすい議会にするために、我々は何ができるかということで、議員のほうからは、議事録をネットで見られるようにしてほしいというような話は要望としてずっと出ている。我々は、皆さんのほうから便利なようにそういうようなものをネット上にあげていくことができないか、できるかというのは、ただ予算の問題になる。今、検討は、ずっとしている。今、うちの事務局は、後ろに担当がいるが、一つは、議会でやっているライブでちゃんと見れるようになりませんか。もしくは、記録したものを後で見れるようになりませんか。これは、できることになった。一つ一つやっていこうということで、今、言われるような形で、バックナンバーまで落とし込んでやってやるという、例えば、それは業者委託になるので、予算がとれるかどうかである。

○（議会）今、お話があったが、基本的に議会の中では、情報公開をすべてしているつもりである。ただ、今、ご要望のあったネット上にバックナンバーをすべて公開できているかということ、そこまでの費用等についても予算計上できていない関係で、限定的にそれは行っている。その代わりといたらなんだが、議会中継をユーストリームで直接流すということは行っており、できる限りの範囲で、公開をしていくということはさせていただいている。あと、例えば、議会改革の関係で、議運の皆さんが中心となって、色々と検討していただいているが、例えば、ナイター議会であるとか、サンデー議会であるとか、あるいは、町の中に議員が出て行って、このような意見交換をすとか、そういったことの検討をさせていただいており、今後、議会運営委員会の中で、今後の議会改革について、さらにどのようなことができるかということは検討していただけるかなと思う。先ほど、お話の中に、一番いいのは、自宅で全部パソコンを通じて、閲覧ができるのが一番いいのかもしれないが、なかなか、どれだけのニーズがそこにあって、そして、議会としても、どれだけの費用をかけてそれを整備できるかということも、議会側としては、検討をしなければならないと思っている。ただ、過去の議事録についても要請があったら、議会のほうに来ていただければ、いつのどのテーマの、あるいは、どなたの質問ということであれば、そこから情報を開示するということは、可能な状態になっている。

○（議会）先ほどあった議員個々の活動について、この中の議員の中で、個人になると思うが、議員としての答えがあれば…。

○（議会）議会以外で議員の活動を知りたいと、非常に大事な意見であると思う。先ほどから司会の方も言っているように、議員個々の問題であるから全体的なことにはならないが、つい最近のことで言えば、道の駅の開業にもなって、車が非常に頻繁に通るようになった。今まで、そこを歩いていた人は、非常に危険な状況になる。ところが、役場のほ

うでは、太美の駅のところに、「徒歩の方は、駅の東側を出て、17線をまっすぐ行くと道の駅ですよ。」という案内表示がある。17線は歩道がなく、危険な状態であるといつても散歩をして知っているの、町民の方に、知らせなければならない。また、町にも改善の申し入れはした。また、バスも太美南という表示のところに、道の駅行きがある。ところがそこは、水たまりがよく出る。子どもたちも通学路で、水はねに気を付けている状況があり、その話をしたらすぐに排水溝をつけてくれた。そうすると、バスで道の駅に行く人も水をはねられる心配もないし、子供たちも気をつけなくてもよくなる。2年前くらいからそれを話していたが、道の駅を機会にして、すぐにそれは手を打ってくれた。そのようなことを町民の方にできるかぎり知らせていくということで、太美の地域だけであるが、ニュースを作って出した。私の場合であるが、町営住宅の改修問題がここ2年くらいで進み、屋根の塗装や色々なこと、それを町営住宅に入っている人を中心として意見を聞く会というか場を持つというようなことも、議員としてやらせてもらい、特定の地域であるが、チラシも撒いてた。いずれにしても、議会以外で議員の活動が、まだまだ皆さんの期待に応えるような状況になっていない。その点では、議員も含めて、私も含めて、一生懸命まだまだやらなければならないと感じ、大変、貴重な意見であったと思っている。

○（町民）情報公開についてであるが、先ほど、議員さんが言ったことは、私は理解に苦しむ。要するに、議事録は、事務局に来てくれれば、閲覧できますよと。ただ、今の時代、行政サービスとしてインターネット上でいくらでもできる。それは予算の問題と言うかもしれないが、それがまな板にも乗っかってもないという状況は、私はちょっとあれではないかなと思う。例えば、今の現状であれば、私は、ビトエから車で12キロくらいかかる役場に行かないと手続きができない。それでコピーをとって、納付書ももらって、下で金払ってみたい。そういうことをいちいち町民として、それが今の時代いいのかなと思う。やはり、議事録は誰でも見れるように、もちろん紙ベースでもあるし、データでネット上でも見れるという、そういうシステム作りというか、それがやっぱり必要ではないのかなと思う。それを是非一日も早くやっていただきたい。ユーストリームもあるが、何日間か経ったら消えてしまう。あれは、永久にパソコン上にあるわけではない。役場も金かけないでやっていると思うが、それは、他の市町村でもやっているから、あれなんだけれども。要するに、残るのは、紙ベースなんですね。そこらへんをきちっとしていただければと思う。あと、議会だよりのデータベース化、それをネット上に公開というのは、それは技術的に何もめんどくさいことでもないし、予算的にそんなにかかるものではない。そこは、議会改革委員会だか何だかわからないが、できるところから手をつけていただいて、我々は、できるだけ町民が手間をかけないで、過去の記録とかに辿り着けるような環境を是非つくっていただきたいと思う。

○（議会）今の件については、ご意見でよろしいか。

○（町民）はい。

○（町民）お聞きしたいことが一点あり、各町内会にはりつく地域担当職員制度というのがあったと思うが、スタートしたころは、町内会の総会や行事にもよく顔を出してくれ、「この方がうちの町内会の担当なんだな。」と非常に親しみも沸いたし、何かあれば、その方にとっていたが、その制度は今なくなったのか。それとも、今もあるが、前みたい

に町内会の行事とかに顔を出さないようになったのかがわからないが、面と向かってお付き合いできるというところが、町内会と役場のクッションになるのではないのかなと思っている。この制度自体はどうなっているのか。

○（議会）議会としてもそのことについては、今、あまり触れる人はいないというふうに自分は認識している。

○（議会）制度は、まだ続いているはずである。行事には、基本参加しないという流れがあり、僕も、町内会長をやっているときに言われた。総会くらいはいいような話をしていた。それは、総会くらい来てもらわなければ、町内会の行事などがわからないし、どんな問題があるのかなど町内会を知るうえでは、総会が一番だろうと。しかし、うちは呼ばなかった。何かあったときに、職員がいることによって、パイプなりクッションなりになって、いわゆる、面と面を合わすことによって親しみというのは、非常にいいことであると思うし、役場の中のこととも色々聞けるであろうし。ただ、職員がはりつくというのは、ぴったり寄り添っていくということではないという感覚は、僕はしていた。おそらく、何かあったときの窓口として職員がいますよという程度であったのかなと認識はしていた。

○（議会）はっきりとは言えないが、おそらく、機能していないと思う。今、お話があったので、確認をして、答えられる部分については、答えていきたいと思う。

○（議会）各町内会の担当職員制度は、皆さんご存知ではあると思うが、各町内会の色々な課題などを町内会長さんのほうから担当の行政者に申し出てもらって、役場との調整機能を充実させていくということで始まったと記憶している。ただ、現実には、おそらく更新されていないと思っている。その原因の一つとしては、町内会長さんも、今、行政推進員という形で、役場と直接関わっていただいております、そこに頼まなくても町内会長さんが直接担当課に行って頼めるということもあって、必要性がなくなってきたのかなとも思っている。必要であれば、各町内会の会長さんなり、役員さんなりが、その制度を利用して、行政との連携を高めるということもあると思うが、今は、そこがなくても機能するという形になりつつあると感じている。ただ、行政として一旦決めたことで、制度として残っている以上は、そこをどう活用していくかは考えなければならぬと思うし、必要がないのであれば、廃止をするということも、しっかり結果を出さなければならぬと思う。今回、ご意見をいただいたので、議会としても、その制度について改めて確認をさせていただいて、今後はどうするのかも含めて、ご回答をしたいと思っている。

○（議会）時間も少なくなってきたが、その他あれば、お受けしたいと思う。

○（町民）北朝鮮のミサイル発射のときに、Jアラートが家中に朝の6時から鳴り響いた。ここにいる方のどのくらいの方が、携帯に受信、もしくは、テレビで朝6時にリアルタイムに知った方がいるのか。町内会の会員の方から、「防災無線は当別町にないのかい。」という問い合わせが、すぐに私のところに入った。防災無線の設置に対して、議会として、どのような動きや要望を実際にしているか、していないのかをお聞かせ願いたいと思う。

○（議会）初めに反応があった方を聞いてみるか。

○（町民）興味深い。

○（議会）Jアラートというか、緊急通報に反応があった人。受信を受けた人。8割がたというふうに思う。

○（町民）逆に、2割の人は、情報が全くなかったということである。テレビがついていたらわかったかもしれないが、テレビもついていなかった。これから、超高齢化社会を迎える中で、絶対に見逃してはいけない部分の2割の方であると思う。そこをどのように考えているのかをお聞きしたい。

○（議会）今、ご意見をいただいて、議会として、町側とそのことについて正式にお話ししたことはまだないが、議員個々として、例えば、総務に行ってどう対応しているのかとか、あるいは、町長にどうすべきなのかとかということとは話はしている。今、ご指摘のように、何らかの方法でその危機が通知をされる人は、それなりの対応ができると思うが、今の事例で言うと、2割の方にその情報が全く届かないという状況をどのように町として克服するのかということ町長とは言わないが、ある人にした。基本的には、今回の場合はミサイルであるので、なかなかそのへんが…。

○（町民）今回のミサイルに関しては、レーダーということで、例えば、緊急地震速報、あと、水害、ここに大きな川があるが、これの氾濫危険水位がレベル4まで上がった。滝川かどっかで、もう既に氾濫したと。そしたら、太美地区も実際には危険ですよ。というのが携帯に届いた事例もある。そういうのすべて含めた形での…。

○（議会）ミサイルだけではなく、すべてのということであるが、前提として、予測できる被害については、役場としてはしっかりと対応している。災害にかかわる部署については、徹夜での監視体制もとっているし、上部の組織との連絡もとっている。ただ、あらかじめ予測できる、例えば、雨がずっと続いて河川の氾濫であるとか、あるいは、地震もそういった意味では急に来るが、そういったときにも、すぐにどう対応するかということも、震度いくつ以上ということを決めているし、その対応のマニュアルもできてはいる。ただ、それで十分かということとどうかという問題もあるし、今後、あらかじめ予知できるものについては、各町内会長さんなり、行政推進員さんなりを通じて、地域の被災状況を確認をするとか、いわゆる、地域防災マニュアルもできているので、その対応はよろしいかなと思っている。ただ、冒頭に言われたミサイルの関係は、すべての皆さんに瞬時に情報が行き届くということができないので、そこは、どう対応しているかということで、個人的に聞いたことがあるが、基本的に、情報を流しても、すぐにどうしていいかという確定的な指示が出せないということをお話したことがある。そういった意味では、政府のほうでもただ通知をするということから、丈夫な施設に避難をして下さいとか、窓から離れて危険に対応してくださいとかになっているが、その程度しか、特にミサイルについては、それしかないのかなと思う。ただ、知らされない人にどう知らせるかということは、行政上の課題であると思うので、今後、全くあり得ないとは言えないので、それは、行政のほうにも、どうその課題を克服して対応していくのかというのは、今日のご意見も踏まえて、今後どう対応するのかということをお話しして、回答を出したいと思っている。

○（町民）最近、後期高齢者の講習で、4月から認知症の関係が非常に厳しくなったという新聞報道等も出ていて、当別町の取り組みとしてどうなのかをお聞きしたいと思う。免許の返納について、最近、新聞報道等でも相当数の免許の返納者が出ていると思うが、一番問題になっているのが、足の問題である。免許を返納すると買い物にも行けないので、当別町として、どのような取り組みをしているのか。これから、どのように進め、免許返

納を促進するのか。それと、私の要望であるが、せっかく、このような機会を作っていたが、残念なことに太美の議員さんが、2人しか出ていない。色々とお話を聞くと、道の駅から駅までの道路が非常に悪い。私も痛感しており、是非、太美の他の議員さんにそういうものを直に町民の人たちの声を聞いて、議会にあげて…。是非、今後、このような機会には、地元の議員さんも多数参加していただくように要望しておく。

○（議会）先に、今日の報告会の参加議員については、昨日、ゆとろでも開催したが、それぞれ議員が半分ずつに振り分けているということもあり、都合のいい人を基本に分けた関係があり、このような配置になっているということを知りたいと思う。次に、道路の話については、太美の関係の議員だけではなく、道の駅の関係で課題として出ている。そして、このことについては、おそらく、早急に対応するという話ではないが、検討していくところにあがっていることをお知らせしたいと思う。免許の返納については、今日、来ていない議員が議会の中で、質問している。そのことについては、議会だよりを見ていただければわかると思うが、特に行政から、今、アクションを起こして返納を進めるとの回答にはなっていないかと思う。後で、確認をいただければと思う。ただ、高齢者の足の確保という点に関しては、コミュニティバスがあり他市町村に先駆けて整備をしている。今、少しずつであるが、デマンドバスという希望者のところに回る取り組みであるとか、江別に行くバスが廃止になった代わりになるような対策であるとか、色々なところで高齢者というか、足の確保については、一定の水準にはなっているとは思っているが、これからも、議会の中でも、あるいは、町長とも考えながら一緒になって進めていくものであると思っている。

○（町民）札幌であれば、高齢者の交通局の使用とかというのは、ある程度、援助があるが、料金的なものとか、それに替わるようなことを何か考えていることはないのか。

○（議会）あまり協議になっている記憶はない。全部を把握しているわけではないが、検討しているようである。でも、なかなか、当別町の状況としては難しいのかなと思う。

○（議会）デマンド型の要望があって、乗り合いで行っていただく、もしくは、単独でいくというのは、今言った、江別当別線が廃止になったときに、今もバスを走らせている業者さんをお願いをしてやっていたが、太美地区はまだなので、今、これも全部含めた形の検討に入っている。今、言われたように札幌市のバス券であるとか、フリーバスであるとか、それから、タクシー券みたいなものもやっている自治体もある。そういうことも含めて、当別町で今何ができるかを今検討していると思う。

○（議会）今、高齢者の関係の対策の話であったが、江別当別線が廃止になったので、江別の病院に通っている障がい者の方が非常に不便になったということで、新たに、有償運送というものを始めている。有償であるが、低料金で、利用者のニーズに合わせて運行しているので、幅広い対策というか、ある程度は進んでいると思う。

○（町民）是非、取り組みをお願いします。

○（議会）要望ということで、承っておきたいと思う。

○（町民）コンパクトシティ構想について、概要をお聞かせ願いたい。私自身の知識だと、限定したエリアの中にたくさんの人を集め、民間、行政の効率的なサービスが可能になるということを実現しようとするのが、コンパクトシティかなと勝手に思っている。そう

であれば、例えば、西地区と本町のほうで、真っ二つに分かれている地域の状態を改善する一つの構想として、利用できるのではないかと思う。例えば、JR であれば、太美駅と本町の間にもう一駅誘致して、そこに、役場や町営住宅など、あるいは、当別に足りない機関を誘致して、より活気ある町にするということも可能ではないのかと思う。

○（議会）コンパクトシティについては、私とか議会が進めているということではなく、当別町が、今、人口減少している中で、どう町を活性化していくか、あるいは、町長は、2万人に戻すという目標を立てているが、そのような中で、今、言われたように行政コストを抑えられる町づくりをどう進めていくかという視点で、コンパクトシティを一つの方策に採用しようということ、今、進めている。それで、町全体をとらえて、コンパクトシティを作っていくということは、なかなか、現在、いわゆる東地区と西地区という言い方をするが、町が2つに分かれている状況の中で、中間駅を作って町を作ろうという構想は、昔からあるが、それを今の時代で実現するというのは、難しいことであるとも思う。人口がどんどん増えてくる状況であれば、中間駅を作ってということも可能であったと思うが、今は、それができる状況ではないと思う。そういう意味では、2つに分散している状況の中で、どう行政コストのかからない市街地づくりをしていくかという視点で進めていくほうが、効率的にはいいのかなと私個人としては思う。今、町としては、小中一貫校を一体型で整備をするという方針に舵を切った。今後、西地区に小学校、中学校、本庁地区に小学校、中学校があるので、そこを出生率や人口の動態によって、どう作っていくかというのは、今後の課題になってくると思うが、今の町長というか、行政の選択は、先ほど申しましたように、当別中学校の老朽化が著しいということで、本町地区に小中一貫校をとということで進んでいるようである。ただ、それが、はっきり教育委員会が明かしたわけではないので、わからないが、そういったことも含めて、本町地区、あるいは、役場の建て替えも含めて、どういったことで行政コストの少ない町づくりをできるかということである。例えば、今、図書館を建ててほしいという要望もきているし、それはやはり実現しなければならないと思っている。それも、どう行政コストを抑えた形で、どうやって作るかと。その一つの案として、役場庁舎を複合施設にするとか、建設の方法も行政主体ではなく、PFI であるとか、民間の資本を入れてであるとか、検討している。そういった色々なものを複合する中で、コストを抑えた形の町づくりをどうできるかということ、あるいは、そういった姿勢の中には、冬の雪対策も含めて、例えば、ご高齢の方が、サービス付き高齢者住宅に入って、駅までは通路を歩いて外に出ないでいけるようになるとか。そういうようなことも含めて、これから考えようということで、コンパクトシティを念頭に置いた街づくり、あるいは、行政がすべてを行う町づくりではなく、民間の資本を入れた中で、町全体をどうつくっていくかということが、今後、行政の中で検討されると思う。それに対して、議会としても、どう提案をし、どう承認をしていくかということで、特別委員会を作りましようとなり、今後、議論が始まるということでご理解をいただければと思う。

○（議会）拙い司会ではあったが、皆様のご協力をいただき、たいへん貴重な意見をたくさんいただいた。

◎高谷議員閉会挨拶

今日は、大変、ありがとうございました。今回は、基本的にはテーマを持たないで、皆さんの意見をしっかり聞いて帰ろうということで、報告会の開催をさせていただきました。今日は、皆さんから、色々な質問や要望がありまして、だいたいは町に対する質問というのが一番多いんですが、今日は、議会に対する要望もたくさん聞かせていただきました。そういう意味では、我々も、持って帰っていかなければならないし、また、皆さんに逆に一緒に考えていただきたいというような問題もあったのかなと思います。今、特別委員会の話がありましたが、特別委員会でテーマにしようとするのは、皆さんの生活の中に非常にかかわることがとても多いわけで、実は、新しいものを建てると古いものはいなくなるわけです。ところが古いものは、上手く活用すれば、町民のために、活用できるものがたくさんあるんですね。そういう意味で、そういう知恵もこれから町側は提案をしてきます。その提案に我々がしっかりと応えるえるためにも、まずは、自分たちでしっかり勉強しようということで、特別委員会を開くことになりました。一体型の小中一貫校を作るということになれば、本町側から作って、当別町の今一番古い中学校から始めるということになれば、ではその後、西当別はどうなるんだとかというような話も次に起きるわけで、では今ある当別小学校はどうするんだということも起きてきます。そこには、作り替えたばかりの体育館がありますし、非常に大きな利用価値のあるものがたくさんあって、これは、かけたお金の分だけ皆さんと相談をして、これから進めていかなければいけない重大な問題だというふうに思っています。そういう意味では、我々、12月からそういう委員会を作りますけれども、どうか皆さんからも忌憚のない意見をこれから、今日みたいな会がそういうものにつながっていけばなと思っております。今日は、我々8人で来ましたけれども、この次は、違ったメンバーで来て、そういうことを色々と考えながら議会報告会を続けていきたいなというふうに思っています。是非とも次回もご参加いただきまして、そういうご意見をいただければというふうに思います。今日、皆さんから聞かせていただいたものは、部局にはしっかりと伝えて、うちの広報の中で報告をさせていただきますので、しっかり確認をしていただきたいと思います。今日は、ありがとうございました。